

教育用NXT ソフトウェアのバージョン別 情報

○免責事項

本資料に掲載する情報については、注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。株式会社アフレルは本資料の使用ならびに閲覧によって生じるいかなる損害にも責任を負いかねます。また、本資料の情報は予告無く変更される場合があります。

※各製品名及びサービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

作成日：2009/01/20

【教育用NXT ソフトウェアver2.0の新機能】

- NXTプログラミングへの追加機能
 - データロギング開始と終了ブロックが追加されました。
 - 新しい温度センサブロックが追加されました。
- NXTデータロギングの機能
 - 4つのセンサの値を同時に観測できます。(USB及びBluetoothを使用できます。)
 - NXT上でプログラムを実行したりしながら観測したり、NXT上にデータを蓄えて後で調べたりすることができます。
 - データロギングのチュートリアルがロボット・エドューケーターに7つ追加されています。
 - グラフの予想を行うための、フリーハンドペンツールが用意されています。
 - 数式によるグラフ予想ツールが用意されています。
 - 最大値、最小値、平均値などを求める分析ツールが用意されています。
 - データロギングの結果は、EXCELで開くことができます。
 - スクリーンショットをJPGや、PNGで保存することができます。
- その他特徴や注意点
 - 小数点をサポートするようになりました。
 - インテリジェントブロックNXTにデータロギング機能が追加されました。
 - ただし、RCX用のセンサのデータロギングはできません。 インテリジェントブロックに保存されたログデータを教育用NXT ソフトウェアにアップロードできます。
 - 標準では、NXTプログラミングにおいて、RCX用のセンサやモータが使用できなくなりました。
 - RCX用センサのライブラリをインストールすると使えるようになります。

【教育用NXT ソフトウェアブロック比較表】

	教育用NXT ソフトウェアver1.1	教育用NXT ソフトウェアver2.0
データロギング機能		 <p>データロギング機能が追加されました。 NXT用の標準センサを使ったデータロギングが可能です。</p>

教育用NXT ソフトウェアver1.1

教育用NXT ソフトウェアver2.0

ロボットエ デュケーター



データロギング用のロボット・エデュケーターが追加されました。

共通パレット



共通パレットに変更はありません。

		教育用NXT ソフトウェアver1.1	教育用NXT ソフトウェアver2.0
完全パレット	共通ブロック		共通ブロックに変更はありません。
	アクションブロック	 <p>RCX用のモータが使用できます。</p>	 <p>RCX用のモータブロックが削除されました。 ※RCX用センサのライブラリをインストールすると使用できます。</p>
	センサブロック	  <p>RCX用のセンサブロックが使用できます。</p>	  <p>新しい温度センサブロックが追加されました。 RCX用のセンサブロックが削除されました。 ※RCX用センサのライブラリをインストールすると使用できます。</p>
	フローブロック		フローブロックに変更はありませんが、RCX用のセンサは選択できません。 ※RCX用センサのライブラリをインストールすると使用できます。

		教育用NXT ソフトウェアver1.1	教育用NXT ソフトウェアver2.0
完全パレット	データブロック		 定数ブロックが追加されました。
	拡張機能ブロック		 データロギング開始ブロックと終了ブロックが追加されました。 Bluetooth接続ブロックが追加されました。